



くりしま

《本園の教育目標》

- 元気がある ○自分のことは自分です
- 仲良く遊ぶ ○ものごとに興味・関心をもつ
- 思ったことを話し、人の話を聞く
- 体験や考えに感動する ○工夫して表現する

《栗島幼稚園ホームページ》

栗島幼稚園

検索

《Instagram》kurishima1955



『安全基地から出発進行』



～安心から活動の広がりを～

園長 矢田 泰久

春風とともにスタートした新年度も最初のひと月が終わりました。新しい学級で新しい先生や仲間たちと過ごした14日間の生活は、たとえ進級した子どもたちであっても戸惑うこともあって長く感じられたことかと想像します。ましてや新入園児の子どもたちにとって、お母さんお父さんから離れることは、安心していられるところから離れる怖さや何とも言えぬ不安を膨らませることであったでしょう。同時に保護者の皆様にとっても、がまんの子育であったかと思えます。

<ご入園おめでとうございます 4/8>



<年少 ちゅうりっぷ組>



<年中 すみれ・さくら組>



<年少 たんぽぽ組>

けれども、幼稚園へ行きたくない学級へ入りたくないと訴える気持ちの表れとして、親から離れたくなくで、お母さんの懐に入り、しがみついたり、泣いたり、おうちに帰りたいと訴えたりすることがあって、それは当たり前のことであり健全な成長の姿です。

このような場面を見せていただきますと、保護者の皆様がお子様を愛情たっぷりに育てられ、敏感に子の心をとらえ、通い合わせていることが伺えます。改めて皆様の子育てに敬意を表します。本園の教職員も皆様のように安全基地(養育者)として、子どもたちの心と行動の往来を基盤とした保育に取り組んでまいりたいと思っています。

4月、新型コロナウイルスの感染拡大の防止策とは言え、ちゅうりっぷ組を学級閉鎖せざるを得なかったことは申し訳のないことでした。子どもたちにお詫びするとともに、保護者の皆様にはこれからも本園の教育・保育並びに運営に、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、5月を迎えました。園庭のこいのぼりが気持ちよく皐月空に泳いでいます。子どもたちも同様に気持ちの良い春の季節を感じとり、学級やほし組での保育の中でいっそう元気いっぱい活動し、また表現して欲しいものです。



<年少合同保育>



<年少 ちゅうりっぷ組>



<年中 すみれ組 自転車>

子ども心は、いつも「見ていてほしい」「聴いてほしい」「一緒にいてほしい」「遊んでほしい」「助けてほしい」です。そして、年齢が上がるにつれ「分かってほしい」「褒めてほしい」「なぐさめてほしい」などが加わります。

そのために、私自身心がけていることは、

- ◇子どもの気持ちを受け止め一緒に感じる（嬉しい、悲しい、怖い、寂しいなど）
- ◇スキンシップしてあげる（求められたら手タッチ、くっつき、抱きかかえなど）
- ◇子どもの呼びかけを優先すること（「ちょっと待ってね」の前に「どうしたの？」）
- ◇よく見てよく話を聴いてあげる（子どもの「こっちを見て～」を大切に。短時間でも話をきいてあげる）
- ◇頼まれたらしてあげる（子どもが頼ってきたら、優先してやってあげる）
- ◇嫌がることをしない（子どもがしていることをいきなり中断させたり、嫌がるようなことをしない）
- ◇自分の言動に気をつける（話し方や口調、口癖をいつも点検する）

コロナ禍でスキンシップが減り、相手の表情も読み取れない状況ではありますが、心身の交流を減らすことなく、遊びを中心とした保育の充実を図ること、環境を整備することが本園の使命です。今月も子どもたちの健やかな成長と皆様のご平安をお祈り申し上げます。

【5月の主な行事】

- 7日（土） 園庭開放（未就園児対象）・自由登園
- 9日（月） 種まき
- 10日（火） 年長スイミング
- 12日（木） 年長園外保育（大谷田南公園）
- 17日（火） 歯科診
- 20日（金） 年中園外保育（元渚江公園）
- 23日（月） 内科診
- 24日（火） 31日（火） 年長スイミング



【お知らせ】5月6日付、ちゅうりっぷ組に1名の園児が入園されます。おめでとうございます。